

第21回長野市公共施設適正化検討委員会 議事要旨	
開催日時	平成29年1月19日(木) 10:00~11:40
場 所	長野市役所第二庁舎10階 会議室203
出席者	<p>[委員] 松岡委員長、神田副委員長、太田委員、片山委員、清水委員、西堀委員、西村委員</p> <p>[事務局(行政管理課)] 小川総務部長、丸山行政管理課長、村上行政管理課長補佐兼公共施設マネジメント推進室長、大塚行政管理課長補佐、渡辺行政管理課係長、竹内行政管理課主事</p> <p>[文化スポーツ振興部] 倉石文化スポーツ振興部長、下平スポーツ課長、高木スポーツ課長補佐</p> <p>[事務局支援] 一般財団法人長野経済研究所：折井研究員</p>
議 事	<p>(1) ボブスレー・リュージュパークの在り方の検討について</p> <p>(2) その他</p>

【次 第】

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事

【審議事項】

- (1) ボブスレー・リュージュパークの在り方の検討について
- (2) その他

- 4 閉 会

【開 会】

委員長あいさつ

〔松岡委員長からあいさつ〕

議 事

(1) ボブスレー・リュージュパークの在り方の検討について

〔行政管理課(事務局)より経過等を説明、資料1・2について、スポーツ課より説明〕

委員長 ただいまの説明について、質問、意見等があればお願いしたい。

委 員 施設を「継続」とした場合、10年で約31億円、20年で約56億円の市の負担となっているが、どの程度の改修費を見込んでいるのか。

スポーツ課 改修費は、10年で約11億円、20年で約15億円と見込んでいる。

内容としては、電光掲示板やモニターシステムの更新などが含まれている。今まで一度も更新していない中央監視装置や、10年に1度の冷凍機制御システムの改修も

必要になる。冷凍機に関しては、現在部品の交換という形で試算しているが、全面更新になると、ここに含まれない金額が必要になってくる。

また、現在の世界のコースはシェード式で屋根がついているが、スパイラルは屋根はなく、遮光幕で陽射しや雪等を防いでいる状況である。これらについては試算に含まれていない。

委員長 現地視察の際に、スタートハウス付近の地盤に一部傷みがあったが、試算に含まれているか。

スポーツ課 若干は見込んでいます。また、山の斜面がコース側に押し寄せてきている箇所もあり、競技に影響が出てくるようであれば対策が必要。

委員 資料2で、スパイラルについて周辺（飯綱）の施設を含めた利用を図るとなっているが、実績はどうか。「全面休止」や「一部休止」となった場合の今後のビジョンがあれば教えてほしい。

スポーツ課 当初は、レジャー用のそりを走らせるなど、スキー場を含めた飯綱高原との一体的な活用を検討したが、難しいということになり、その後は検討されていない。先般、浅川の皆様から、スパイラルをまちづくりとして活用したいということで、マラソン大会や星の観察会などで活用したい旨のご提案をいただいております。今後の検討になる。

委員 運営を継続できるような事業は今のところ考えられていないということでしょうか。

スポーツ課 そのとおりです。

委員 コース自体の強度については、あと何年くらいは使えるという見通しはあるか。

スポーツ課 コンクリートの劣化に関して詳しい調査等は行っていません。表面の塗装はかなり剥がれ落ちており劣化しているが、競技の実施に影響はない。

委員 夏場にはどのような活用が可能なのか。また、トレーニングルームなどは今後どのような形で活用できるのか。

スポーツ課 滑走コースとは別に、プッシュトレーニング施設でスタートダッシュの練習ができる施設があり、夏場に活用できる。トレーニングルームの器具については国の備品があるので、NTCの指定が受けられなければ返還ということになる。

委員 夏場の利用状況などは把握しているか。

スポーツ課 夏場に、競技の練習以外で使用していることはあまりないと認識しています。

委員 夏のトレーニングなどの際、選手たちはどこに宿泊しているのか。飯綱周辺に宿泊するなどの仕組みが作れば、飯綱の活性化にもつながるのではないかと。

また、世界中で行われている大会のうち、スパイラルで行われている割合はどのくらいか。

スポーツ課 国際大会については、ほとんどがヨーロッパを中心に海外で行われている。スパイラルではアジア大会や国内の大会の開催がほとんどである。ボブスレーについては、その移動が困難なため、スパイラルでの国際大会は非常にハードルが高い。

リュージュについては、過去に国際大会を開催したこともあり実施は可能であるが、設備の改修等は必要になってくる。

委員 仮にスパイラルで国際大会を開催するとなった場合、経費は市が負担するのか。

スポーツ課 基本的には競技連盟が負担する。過去の大会では、市も負担金を出している。国際大会を開催するとなれば、スポンサー集めや役員・審判団等の人員が必要になる。

委員長 ボブスレーのその移動が大変だという話だが、スパイラルまで運んできて練習するのと、海外で転戦しながら練習するのでは、どちらが負担が小さくて済むのか。

スポーツ課 費用は分からないが、スパイラルにはその格納庫があり、そこに一年中保管しているので、国内においてはその移動はない。海外での強化や転戦には競技団体が海外にそのを置いていると聞いている。

委員 教育の場としての活用や競技力の向上、選手の育成といった観点で、市としての今後の見通し・プランなどがあれば教えていただきたい。

スポーツ課 オリンピック招致の際から、アジア唯一の競技施設として、施設の適切な管理運営やアジアにおける選手育成に努めてきた。体験滑走事業についても、市と競技連盟がそれぞれに行ってきた経過がある。今後施設を継続するとなった場合には、今までと同様に行っていくことになる。休止となった場合には、一義的には競技連盟としての考え方になってくる。長野市としての関わり方は難しいのではないかと感じている。

委員長 夏場の施設の活用については、「継続」と「休止」とで大きな差がありそうか。

スポーツ課 夏場の活用については、今までもそうであるが「継続」「休止」に関わらず課題となる。地元住民による活用等についても工夫する必要がある。

委員 長野五輪以降の冬季五輪開催都市にも施設があると思うが、その施設の現状を教えてください。

スポーツ課 トリノ五輪の施設は廃止されたと聞いている。

委員長 現在は、NTC の指定を受け、手厚い委託料を受けているようだが、平昌五輪以降については同様の委託料を受けられる保証はあるのか。

スポーツ課 スポーツ庁の鈴木長官からは、長野市が希望すれば指定は行うというお言葉をいただいている。国では全国 39 の強化拠点に 9 億円の予算があるが、長野市にはエムウェーブを含め 2 億円きており、財政的な課題はあるとも伺っている。

委員 資料 2 の提言書にもあるとおり、周辺施設も含めた有効活用というのが今後必要になってくる。我々は「公共施設の適正化」を任務としており、経費や今までの利用方

法だけを見て「継続」「廃止」などの方向性を見出すことは難しい。平成7年の提言に立ち返って、周辺も含めた施設活用の余地というのはあると考えてよいか。

スポーツ課 これまでスパイラルは集客型の施設としての利用が難しく、競技施設としての利用で維持してきた経過である。ただ、地元の皆様からも地区の活性化のため施設を活用したいという話もあるので、検討の余地は十分あると考えている。

委員 「休止」となった場合、その休止期間に「再整備により継続」なり「廃止」なりの方向性を改めて検討するというところでよいか。

スポーツ課 休止について、具体的な期間は考えていない。休止期間に、地元の活性化やトレーニング施設としての活用など検討していくことは可能である。

委員 「継続」や「休止」という案に、付帯事項のような形で意見を付して委員会としての結論を出すのは可能か。

事務局 可能である。ケース別の案のどれか一つに決めなければいけない訳ではなく、委員会でいただいた意見を集約して総合的な判断を示していただければと思う。

委員長 付帯事項も含めて、もう少し詰めさせていただきたい。この場で結論付けるのは難しい。もう一度話し合う場を設けたいと思う。

(2) その他について

〔資料3・4について事務局より説明〕

質疑なし

【閉 会】